

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2016年6月30日(30.06.2016)



(10) 国際公開番号

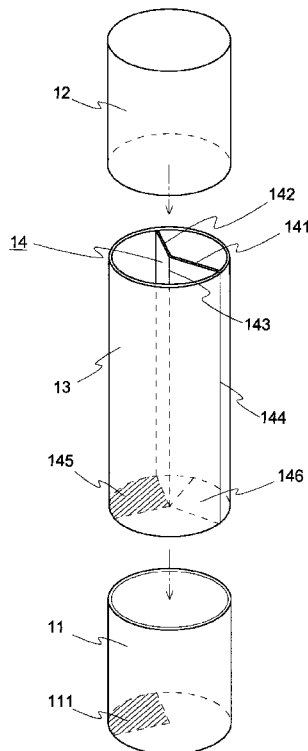
WO 2016/103333 A1

- (51) 国際特許分類:
B65D 85/10 (2006.01) *B65D 25/06* (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2014/083979
- (22) 国際出願日: 2014年12月22日(22.12.2014)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人: 日本たばこ産業株式会社 (JAPAN TOBACCO INC.) [JP/JP]; 〒1058422 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 岩田 慎一 (IWATA, Shinichi); 〒1308603 東京都墨田区横川一丁目17番7号 日本たばこ産業株式会社内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 川口 嘉之, 外 (KAWAGUCHI, Yoshiyuki et al.); 〒1030004 東京都中央区東日本橋3丁目4番10号 アクロポリス21ビル6階 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーロアジア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

[続葉有]

(54) Title: PACKAGE

(54) 発明の名称: パッケージ



(57) Abstract: The purpose of the present invention is to provide a package wherein a ratio of an internal region can be changed with a simple configuration. This package is provided with: a cylindrical outer tube having a bottom surface; a cylindrical inner tube disposed on the inner side of the outer tube such that the inner tube can rotate relatively to the outer tube; and a first partitioning wall and a second partitioning wall, which are rotatably connected to each other via a hinge section that is positioned parallel to an axis along the center of the cross-section of the inner tube, and which partition the space inside of the inner tube. The first partitioning wall is connected to the inner tube, and the second partitioning wall is connected to the outer tube.

(57) 要約: 簡易な構成で内部領域の比率を変更可能なパッケージを提供することを目的とする。パッケージは、底面を有する筒状の外筒と、外筒の内側に、外筒と相対的に回転可能に配設された筒状の内筒と、内筒の横断面の中心に沿った軸と平行に位置するヒンジ部を介して回転可能に接続され、内筒内の空間を区画する第1の区画壁及び第2の区画壁とを備え、第1の区画壁は内筒に接続され、第2の区画壁は外筒に接続される。

WO 2016/103333 A1



添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

明 細 書

発明の名称： パッケージ

技術分野

[0001] 本発明は、パッケージに関する。

背景技術

[0002] 従来、吸い殻を収容する部分を有するたばこのパッケージが提案されていた（例えば、特許文献1～3）。また、未使用の嗅ぎたばこ（snuff）を入れる領域と使用済みの嗅ぎたばこを入れる領域とを有するパッケージも提案されている（例えば、特許文献4及び5）。当該嗅ぎたばこのパッケージは円柱形状であり、中心軸の周りを回転して領域を分割する壁を有する。そして、当該壁によって各領域の比率を変更できる。

先行技術文献

特許文献

- [0003] 特許文献1：特開平10-127265号公報
特許文献2：特開平10-14559号公報
特許文献3：特開2007-54032号公報
特許文献4：国際公開第2008/066450号
特許文献5：国際公開第2008/066451号

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] 従来、領域の大きさの比率を変更可能なパッケージは提案されていた。しかしながら、例えば軸を中心に壁部分を回転させるような構成では、軸等の強度を担保するために材料が限定され、また製造コストも嵩むという問題があった。

[0005] 本発明はこのような課題に鑑みてなされたものであって、簡易な構成で内部領域の比率を変更可能なパッケージを提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

- [0006] 本発明に係るパッケージは、底面を有する筒状の外筒と、外筒の内側に、外筒と相対的に回動可能に配設された筒状の内筒と、内筒の横断面の中心に沿った軸と平行に位置するヒンジ部を介して回動可能に接続され、内筒内の空間を区画する第1の区画壁及び第2の区画壁とを備え、第1の区画壁は内筒に接続され、第2の区画壁は外筒に接続される。
- [0007] なお、外筒及び内筒は円柱であっても角柱であってもよい。このようにすれば、外筒と内筒とを相対的に回動させることができ、外筒又は内筒の回動に連動して、内筒に接続された第1の区画壁又は外筒に接続された第2の区画壁を、ヒンジ部を中心に回動させることができる。したがって、第1の区画壁と第2の区画壁とのなす角度に応じて、第1の区画壁及び第2の区画壁によって区画される内筒内の空間（すなわち、容積）の比率を変更することができるようになる。
- [0008] また、第2の区画壁は外筒の底面に接続されるようにしてもよい。また、第1の区画壁は内筒の内周面に接続されるようにしてもよい。例えば具体的にはこのような構成とすることで、上述のパッケージを実現することができる。例えば、第2の区画壁と外筒の底面とは糊代を介して接続することができ、第1の区画壁と内筒の内周面とは一体の部材で連続するように形成することができるため、これらの接続は容易であるといえる。
- [0009] また、第1の区画壁及び第2の区画壁は形状が略同一であり、ヒンジ部は内筒の横断面の略中央に沿って位置するように設けられるようにしてもよい。このような態様とすれば、回動させる操作が容易となる。
- [0010] また、上面を有し、パッケージを閉蓋可能な筒状の蓋部をさらに備えるようにしてもよい。また、第1の区画壁及び第2の区画壁の、内筒の軸方向の鉛直方向上端は、パッケージを閉蓋した状態における蓋部の上面の高さに位置するようにしてもよい。このようにすれば、パッケージを傾けた場合であっても、内部の区画された空間の間を被収容物が移動することを抑制できる。
- [0011] また、第1の区画壁及び第2の区画壁は、内筒の軸方向の鉛直方向下端の

位置が異なるようにしてもよい。例えば第1の区画壁が外筒の底面と接続される糊代部を有する場合、第2の区画壁の鉛直方向下端と外筒の底面との間に間隙があれば、糊代部が上述の回動を妨げることがなくなる。

[0012] また、外筒、内筒、第1の区画壁、及び第2の区画壁は、紙材料又は樹脂材料で形成されるようにしてもよい。上述したパッケージにこのような材料を採用すれば、押出成型のための特殊な製造機械は必要なく、例えば適宜設けられる糊代を貼り合わせることで容易に組み立てることができる。このため、本パッケージの構成であれば、製造コストを抑えることができる。

[0013] また、上述したパッケージは、第1の区画壁及び第2の区画壁によって区画された内筒内の空間の少なくとも一方にたばこ製品を収容するようにしてもよい。被収容物の一例として、たばこ製品を挙げることができる。未使用のたばこ製品を収容する一方の領域を小さくした分だけ、使用済みのたばこ製品を収容する他方の領域を大きくすることができるため、特に炭素熱源型の喫煙物品や電子たばこのカートリッジのように使用前後でさほど大きさの変わらない物品を分けて収容するのに好適である。

[0014] なお、上述した本発明の課題を解決するための手段の各々は、可能な限り組み合わせることができる。

発明の効果

[0015] 本発明によれば、簡易な構成で内部領域の比率を変更可能なパッケージを提供することができる。

図面の簡単な説明

[0016] [図1]実施形態に係るパッケージの閉蓋状態を示す斜視図である。

[図2]実施形態に係るパッケージの開蓋状態を示す斜視図である。

[図3]実施形態に係るパッケージの分解斜視図である。

[図4]実施形態に係る本体内筒及び区画壁の分解斜視図である。

[図5A]実施形態に係るパッケージの作用を説明するための斜視図である。

[図5B]実施形態に係るパッケージの作用を説明するための斜視図である。

[図6A]実施形態に係るパッケージの作用を説明するための斜視図である。

[図6B]実施形態に係るパッケージの作用を説明するための斜視図である。

[図7]実施形態に係る本体外筒又は蓋を形成するためのブランクの一例である。

[図8]実施形態に係る本体内筒及び区画壁を形成するためのブランクの一例である。

[図9]変形例に係るパッケージの本体外筒、本体内筒及び区画壁を示す斜視図である。

[図10]他の変形例に係るパッケージの本体外筒、本体内筒及び区画壁を示す斜視図である。

[図11]他の変形例に係る本体内筒及び区画壁を形成するためのブランクの一例である。

[図12]他の変形例に係る本体内筒及び区画壁を形成するためのブランクの一例である。

発明を実施するための形態

[0017] 次に、本発明に係るパッケージの実施形態について、図面に基づいて説明する。

[0018] なお、本発明に係るパッケージに収容される被収容物は特に限定されないが、たばこ製品が好適に例示できる。たばこ製品とは、紙巻たばこ（フィルタシガレット、両切シガレット（フィルタ無し））、シガー（葉巻）、シガリロ、スヌース、嗅ぎたばこ、チューイングたばこ、炭素熱源型の喫煙物品、電子たばこ（電子たばこのカートリッジ）等を含むものとする。

[0019] また、パッケージの材料としては、カード紙、マニラボール紙、コート紙、アルミ蒸着紙等の紙材料、プラスチック等の樹脂材料、その他を用いることができる。なお、紙材料を用いる場合は、例えば坪量が100～300g/m²程度の紙が材料として好適である。

[0020] <実施形態>

図1は、本実施形態に係るパッケージの閉蓋状態を示す斜視図である。図2は、本実施形態に係るパッケージの開蓋状態を示す斜視図である。

[0021] 本実施形態に係るパッケージ 1 は、外形が略円柱形状であり、本体外筒（単に「外筒」とも呼ぶ） 1 1 と蓋 1 2 とを有する。本体外筒 1 1 及び蓋 1 2 は、それぞれ一端が塞がれた筒状になっている。すなわち、本体外筒 1 1 は、鉛直下方に底面を有するとともに底面の反対側が開口した凹状であり、蓋 1 2 は、鉛直上方に上面を有するとともに上面の反対側が開口した凹状である。そして、本体外筒 1 1 と蓋 1 2 とは、閉蓋状態においてはそれぞれの開口部が対向するように接続され、内部に空間が形成される。また、パッケージ 1 は、本体外筒 1 1 の内側に、本体内筒（単に「内筒」とも呼ぶ） 1 3 を備えており、本体の側面が二重構造になっている。本体内筒 1 3 の外形も略円柱形状である。また、本体内筒 1 3 の横断面の外径は、本体外筒 1 1 の横断面の内径及び蓋 1 2 の横断面の内径と略同一であるが、本体外筒 1 1 と本体内筒 1 3 とは接着されていない。よって、本体外筒 1 1 と本体内筒 1 3 とは、相対的に横断面の円周方向に回動が可能である。また、本体内筒 1 3 の内側には、本体内筒 1 3 内を区画する区画壁 1 4 を有する。本実施形態では、本体内筒 1 3 内の空間が 2 つの領域に区画され、一方の領域 1 3 1 に未使用の被収容物 2 が収容され、他方の領域 1 3 2 に使用済みの被収容物（図示せず）が収容される。また、後述する通り、パッケージ 1 は、区画壁 1 4 によって区画される領域の大きさの比率を変更することができる。

[0022] 図 3 は、本実施形態に係るパッケージの分解斜視図である。また、図 4 は、本実施形態に係る本体内筒及び区画壁の構造を説明するための分解斜視図である。図 3 及び図 4 において、二点鎖線の矢印は、各部の接続や曲げの方向を示している。区画壁 1 4 は鉛直上下方向に延在する仕切り板であり、本体内筒 1 3 内の空間を、水平方向に隣接する 2 つの領域に区切る。また、区画壁 1 4 は、本体内筒 1 3 に接続される内筒接続側区画壁（「第 1 の区画壁」とも呼ぶ） 1 4 1 と、本体外筒 1 1 に接続される外筒接続側区画壁（「第 2 の区画壁」とも呼ぶ） 1 4 2 とを含み、内筒接続側区画壁 1 4 1 と外筒接続側区画壁 1 4 2 とはヒンジ部 1 4 3 を介して回動可能に接続されている。本実施形態では、内筒接続側区画壁 1 4 1 及び外筒接続側区画壁 1 4 2 は略

同一の長方形形状であり、それぞれ、水平方向の長さは本体内筒 1 3 の横断面の半径（若しくは内径の 2 分の 1）と略同一であり、鉛直方向の長さは本体内筒 1 3 の高さと同様である。また、内筒の横断面の中央に沿ってヒンジ部 1 4 3 が位置するように配設されている。また、内筒接続側区画壁 1 4 1 は、一端にヒンジ部 1 4 3 が設けられ、他端に本体内筒 1 3 の内周面と接続される内周接続部 1 4 4 が設けられている。外筒接続側区画壁 1 4 2 も一端にヒンジ部 1 4 3 が設けられ、外筒接続側区画壁 1 4 2 の鉛直方向下側には、約 90 度に折り曲げられて本体外筒 1 1 の底面と貼り合わされる糊代である外筒接続部 1 4 5 を有する。図 3 の本体外筒 1 1 には、外筒接続部 1 4 5 と貼り合わされる底面の一部に区画壁接続部 1 1 1 を示している。図 3 及び図 4 において、外筒接続部 1 4 5 及び区画壁接続部 1 1 1 には、ハッチングが施されている。また、内筒接続側区画壁 1 4 1 の鉛直方向下側にも、約 90 度に折り曲げられた折り曲げ片 1 4 6 を有する。なお、図 4 に二点鎖線で示すように、折り曲げ片 1 4 6 を折り曲げる方向は、ヒンジ部 1 4 3（本体内筒 1 3 の軸）を中心とする本体内筒 1 3 の周方向のうち外筒接続部 1 4 5 を折り曲げる方向と同一の方向になっているが、このような例には限定されない。例えば、図 4 に一点鎖線で示すように、折り曲げ片 1 4 6 は、ヒンジ部 1 4 3 を中心とする本体内筒 1 3 の周方向のうち外筒接続部 1 4 5 と対向する方向に折り曲げるようにしてもよい。

[0023] <作用及び効果>

ヒンジ部 1 4 3 を介して接続された内筒接続側区画壁 1 4 1 及び外筒接続側区画壁 1 4 2 が、それぞれ本体内筒 1 3 及び本体外筒 1 1 に接続されているため、本体外筒 1 1 と本体内筒 1 3 とを相対的に回転させることにより、内筒接続側区画壁 1 4 1 又は外筒接続側区画壁 1 4 2 もヒンジ部 1 4 3 を軸として回転する。さらに本体内筒 1 3 が本体外筒 1 1 から不所望に脱落することを抑制することもできる。例えば、図 5 A に二点鎖線で示すように、本体外筒 1 1 を固定して本体内筒 1 3 を鉛直上側から見て右回りに回転させると、図 5 B に示すように、本体外筒 1 1 の底面に接続された外筒接続側区画

壁 1 4 2 の位置は変わらず、本体内筒 1 3 の内周面に接続された内筒接続側区画壁 1 4 1 の位置はヒンジ部 1 4 3 を中心に右回りに回転移動する。また、図 6 A に二点鎖線で示すように、本体内筒 1 3 を固定して本体外筒 1 1 を鉛直上側から見て左回りに回転させると、図 6 B に示すように、本体内筒 1 3 の内周面に接続された内筒接続側区画壁 1 4 1 の位置は変わらず、本体外筒 1 1 の底面に接続された外筒接続側区画壁 1 4 2 の位置はヒンジ部 1 4 3 を中心に左回りに回転移動する。このように、パッケージ 1 は、内部を分割して形成された 2 つの領域の大きさの比率を変更することができる。例えば未使用の被収容物を収容する一方の領域を小さくした分だけ、使用済みの被収容物を収容する他方の領域を大きくすることができるため、無駄な空間がなく効率がよい。このようなパッケージは、特に炭素熱源型の喫煙物品や電子たばこのカートリッジのように、使用前後でさほど大きさの変わらない物品を分けて収容するのに好適である。また、パッケージ 1 のように簡易な構成であれば、紙材料等を打ち抜いたブランクを製函機で組み立てることにより製造することができ、製造コストを抑えることができるとともに、簡易な構成であるため組立不良も発生し難い。

[0024] <製造方法>

図 7 は、パッケージ 1 の本体外筒 1 1 又は蓋 1 2 を形成するためのブランク B 1 の一例である。図 8 は、パッケージ 1 の本体内筒 1 3 を形成するためのブランク B 2 の一例である。ブランクとは、紙材料、樹脂材料等を展開図の形状に打ち抜いたものであり、例えば製函機等により、破線で示す折込み線に沿って谷折りに折り、一点鎖線で示す折り込み線に沿って山折りに折ることで、パッケージ 1 が形成される。なお、二点鎖線で示すヒンジ部は、山折り及び谷折りの両方向に折り癖をつけるようにしてもよいし、いずれか一方に折るようにしてもよい。また、ヒンジ線はミシン目にする事で折り曲げをさらに容易にするようにしてもよい。なお、ミシン目は、例えば破線状又は点線状の孔の列であり、孔の形状、数等は、切り離されない程度の耐久性と折り曲げ易さとのバランスをとった構成とする。以下では、図 7 及び図

8に方向を示した通り、便宜上、図面の上下左右に基づいてブランクに含まれる領域の接続関係を説明する。

[0025] 図7に示すように、ブランクB1は、本体外筒11の底面又は蓋12の上面となる略円形の底面領域B1101と、本体外筒11又は蓋12の側面となる略長方形形状の側面領域B1102とを含む。図7の例では、底面領域B1101及び側面領域B1102は上下方向に一端が接続されている。また、パッケージを組み立てる際には、底面領域B1101の外周に沿って側面領域B1102の上側の辺が接続されると共に、側面領域B1102の左右の辺が互いに接続される。なお、底面領域B1101の外周及び側面領域B1102の上端の少なくとも一部に、各領域を接着する糊代となる領域を設けるようにしてもよいし、接着剤又は粘着テープ等、他の部材を用いて各領域の端部を接続するようにしてもよい。また、側面領域B1102の左端及び右端の少なくとも一部に、左右の端部を接着する糊代となる領域を設けるようにしてもよいし、接着剤又は粘着テープ等を用いて各端部を直接接着するようにしてもよい。本体外筒11及び蓋12は、それぞれ図7に示したブランクを組み立てることにより形成することができる。なお、本体外筒11と蓋12とは高さが異なってもよく、側面領域B1102の上下方向の長さは本体外筒11及び蓋12の高さに合わせて変更することができる。

[0026] また、図8に示すように、ブランクB2は、本体内筒13となる略長方形の内筒領域B1301と、区画壁14となる略長方形の領域とを含む。区画壁14となる領域は、内筒領域B1301の左側に連設され内筒接続側区画壁141となる内筒側壁領域B1411と、内筒側壁領域B1411の左側に連設され外筒接続側区画壁142となる外筒側壁領域B1421とを含む。また、内筒側壁領域B1411の上側には、折り曲げ片146となる折り曲げ領域B1461が連設されており、外筒側壁領域B1421の上側には、外筒接続部145となる外筒接続領域B1451が連設されている。なお、図8の折り曲げ領域B1461及び外筒接続領域B1451は、それぞれ中心角が90度の扇形であるが、折り曲げ領域B1461及び外筒接続領域B

1451の形状は中心角が90度未満であってもよく、また扇形でなくてもよい。折り曲げ片146は、その折返しの方向によって外筒接続側区画壁142又は外筒接続部145と干渉するところ、折り曲げ片領域B1461又は外筒接続領域B1451の中心角を90度未満にすることで干渉を低減することができ、区画壁14によって仕切られる本体内筒13内の空間の比率をより大きく変更することができるようになる。なお、内筒領域B1301の右側の端部は、内筒領域B1301と内筒側壁領域B1411との間に接続され、内筒接続部144が形成される。図8の例は外筒接続領域B1451以外の糊代を示していないが、例えば内筒領域B1301の右端に糊代となる領域をさらに設けるようにしてもよいし、接着剤又は粘着テープ等を用いて各部を直接接着するようにしてもよい。

[0027] 以上のようなブランクB1及びB2を実線に沿って打ち抜き、破線に沿って谷折りとし、一点鎖線に沿って山折りとし、二点鎖線に沿って両方向に折り目を付け、所定の領域を接続することで、パッケージ1を組み立てることができる。

[0028] <変形例1>

図9は、変形例に係るパッケージ1の本体外筒11、本体内筒13、及び区画壁14を示す斜視図である。なお、蓋12（図示せず）は、本体外筒11と略同一の形状とする。変形例においては、上述した実施形態と対応する箇所に同一の符号を付し、相違点を中心に説明する。

[0029] 図9に示すように、パッケージ1は、円柱以外の柱状であってもよい。図9に示す本体外筒11及び本体内筒13は、横断面の形状が正八角形の角柱である。この場合、本体内筒13の横断面の外径と本体外筒11の横断面の内径とを同一とせず、本体内筒13と本体外筒11との間に遊びを設けて互いに回動が可能となるようにしてもよい。また、変形し易い素材を用いることで、本体内筒13又は本体外筒11を撓ませて互いに回動が可能となるようにしてもよい。図9に示す区画壁14も、ヒンジ部143を介して接続された内筒接続側区画壁141及び外筒接続側区画壁142が、それぞれ本体

内筒 1 3 及び本体外筒 1 1 に接続されており、本体外筒 1 1 と本体内筒 1 3 とを相対的に回動させることにより、内筒接続側区画壁 1 4 1 又は外筒接続側区画壁 1 4 2 もヒンジ部 1 4 3 を軸として回動する。なお、本体外筒 1 1 及び本体内筒 1 3 の横断面は、互いに相似な回転対称性を有する形状が好ましいといえるが、このような例には限定されない。また、本体外筒 1 1 及び本体内筒 1 3 の横断面は、多角形の場合、角が多いほどスムーズな回転が期待できる。また、多角形の場合、角の数によって本体外筒 1 1 と本体内筒 1 3 とを相対的に回動させる際の移動量の単位（回転角の最小値）を調整することができ、例えば被収容物に応じて移動量の単位を採用することが可能となる。例えば正二十角形等を採用し得るが、角の数は特に限定されない。

[0030] <変形例 2>

図 1 0 は、他の変形例に係るパッケージ 1 の本体外筒 1 1、本体内筒 1 3、及び区画壁 1 4 を示す斜視図である。なお、蓋 1 2（図示せず）は、本体外筒 1 1 と略同一の形状とする。また、図 1 1 は、本変形例に係る本体内筒及び区画壁を形成するためのブランクの一例である。本変形例においても、上述した実施形態と対応する箇所に同一の符号を付し、相違点を中心に説明する。

[0031] 図 1 0 の例では、外筒接続部 1 4 5 が外筒 1 1 の底面でなく側面と接続されている。すなわち、図 1 1 に示すように、内筒側壁領域 B 1 4 1 1 の上端には第 1 の折り曲げ片 1 4 6 となる折り曲げ領域 B 1 4 6 1 が連設され、外筒側壁領域 B 1 4 2 1 の上端には第 2 の折り曲げ片 1 4 7 となる折り曲げ領域 B 1 4 7 1 が連設されている。さらに、扇形である折り曲げ領域 B 1 4 7 1 の円弧に沿って、外筒 1 3 の内周面又は外周面と接着される外筒接続部 1 4 5 となる外筒接続領域 B 1 4 5 1 が連設されている。なお、図 1 1 の外筒接続領域 B 1 4 5 1 は、折り曲げ領域 B 1 4 7 1 の円弧に沿って折り曲げられるよう 3 つの領域に分けられているが、外筒接続領域 B 1 4 5 1 の形状及び大きさは、図 1 1 の例には限定されない。図 1 1 のブランクを組み立てることにより、図 1 0 に示すように、区画壁 1 4 のうち外筒接続側区画壁 1 4

2の鉛直下方には、約90度に折り曲げられ、本体外筒11とは接着されていない扇形の折り曲げ片147が連設され、折り曲げ片147の円弧に沿って、さらに約90度に折り曲げられ本体外筒11の内周面又は外周面と接着される外筒接続部145が連設される。

[0032] このように、外筒接続側区画壁142は、他の領域（例えば折り曲げ片147）を介して外筒接続部145、ひいては本体外筒11と接続されていてもよい。また、内筒接続部144についても、同様の構成としてもよい。本変形例のように、区画壁14の一方（例えば内筒接続側区画壁141）が本体内筒13と接続され、区画壁14の他方（例えば外筒接続側区画壁142）が本体外筒11と接続されていれば、本体内筒13及び本体外筒11を相対的に回転させることにより区画壁14が仕切るパッケージ1内の空間の比率を変更することができる。なお、図10及び図11に示した態様のほか、例えば、本体内筒13の周方向に沿って穴状の切り欠きを設け、外筒接続側区画壁142の端部が切り欠きを通過して外筒11の内周と接続されていてもよい。

[0033] <その他の変形>

上述した実施形態及び変形例は例示であり、本発明に係るパッケージは図示した構成には限定されない。例えばパッケージの大きさ、各部の大きさの比率、これらに基づくパッケージに収容することができる被収容物の数等を変更することができる。

[0034] 例えば、図2等にした本体内筒13の横断面の外径は、本体外筒11の横断面の内径及び蓋12の横断面の内径と略同一であるが、本体内筒13の横断面の外径は、本体外筒11及び蓋12の横断面の内径以下であればよい。

[0035] また、区画壁14及び内筒13の鉛直方向の高さは任意であり、区画壁14の高さと内筒13の高さが異なってもよい。ここで、区画壁14の鉛直方向の高さは、閉蓋時において蓋12の内側と接する程度が好ましい。このようにすれば、パッケージ1を傾けた場合に内部の区画された領域間を

被收容物が移動することを抑制できる。

[0036] また、実施形態における折り曲げ片 1 4 6 及び外筒接続部 1 4 5、又は変形例 2 における折り曲げ片 1 4 6 及び折り曲げ片 1 4 7 を折り曲げる方向も任意である。なお、折り曲げ片 1 4 6 や折り曲げ片 1 4 7 によっても、区画された領域間を被收容物が移動することを抑制することができる。例えば、上述した実施形態に係る外筒接続部 1 4 5 と折り曲げ片 1 4 6 とを、本体外筒 1 1 の周方向であって対向する方向に折り曲げた場合、外筒接続部 1 4 5 と折り曲げ片 1 4 6 とが干渉して区画壁 1 4 の可動範囲が狭くなるおそれがある反面、外筒接続部 1 4 5 と折り曲げ片 1 4 6 とが折り曲げられた方向の領域から他方の領域へ、被收容物のかけらや灰等が移動することを抑制できる。上述した変形例 2 に係る折り曲げ片 1 4 6 と折り曲げ片 1 4 7 とを対向する方向に折り曲げる場合についても、同じことがいえる。ただし、パッケージ 1 は、折り曲げ片 1 4 6 を備えていなくてもよい。

[0037] 図 1 2 は、他の変形例に係る本体内筒及び区画壁を形成するためのブランクの一例である。図 1 2 の例は、内筒側壁領域 B 1 4 1 1 の上下方向の長さが外筒側壁領域 B 1 4 2 1 よりも短くなっており、折り曲げ領域 B 1 4 6 1 は、内筒領域 B 1 3 0 1 の上端や外筒側壁領域 B 1 4 2 1 と外筒接続領域 B 1 4 5 1 との接続部よりも下方で内筒側壁領域 B 1 4 1 1 と接続されている。このようなブランクを用いてパッケージを組み立てると、内筒接続側区画壁 1 4 1 と外筒接続側区画壁 1 4 2 との鉛直方向の高さは同一でなくなり、内筒接続側区画壁 1 4 1 と本体内筒 1 3 の底面との間には間隙が生じる。上述の通り、折り曲げ片 1 4 6 は、その折返しの方向によって外筒接続側区画壁 1 4 2 又は外筒接続部 1 4 5 と干渉するところ、図 1 2 のブランクを用いれば、外筒接続部 1 4 5 が折り曲げ片 1 4 6 の下に潜り込み、干渉を避けることができるようになる。

[0038] また、上述した紙材料又は樹脂材料の代わりに難燃性又は耐熱性を有する材料を用いたり、紙材料又は樹脂材料に金属箔やガラス繊維等、難燃性又は耐熱性を有する材料を貼り合わせるようにしてもよい。このようにすれば、

燃焼中のたばこ製品をパッケージ内に収容する場合の安全性を向上させることができる。

[0039] また、何らかの製品等を収容する場合、未使用の被収容物を収容する領域と使用済みの被収容物を収容する領域との比率は、任意に設定できる。たばこ製品を収容するような場合、開封直後において、使用済みの被収容物を収容する領域が吸い殻 1 本分程度、又は灰落としとして使用可能な程度の空隙を有するようにしてもよい。

符号の説明

- [0040] 1 パッケージ
- 1 1 本体外筒
 - 1 2 蓋
 - 1 3 本体内筒
 - 1 4 区画壁
 - 1 4 1 内筒接続側区画壁
 - 1 4 2 外筒接続側区画壁
 - 1 4 3 ヒンジ部
 - 1 4 4 内筒接続部
 - 1 4 5 外筒接続部
 - 1 4 6 折り曲げ片
 - 1 4 7 折り曲げ片
 - 2 被収容物

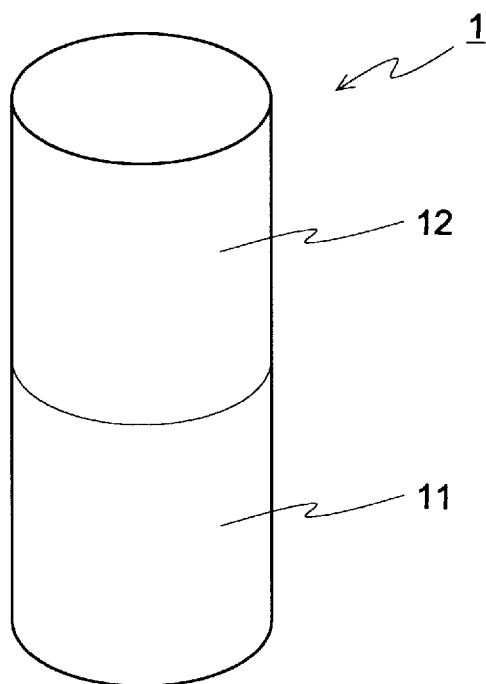
請求の範囲

- [請求項1] 底面を有する筒状の外筒と、
前記外筒の内側に、前記外筒と相対的に回動可能に配設された筒状の内筒と、
前記内筒の横断面の中心に沿った軸と平行に位置するヒンジ部を介して回動可能に接続され、前記内筒内の空間を区画する第1の区画壁及び第2の区画壁と、
を備え、
前記第1の区画壁は前記内筒に接続され、前記第2の区画壁は前記外筒に接続された
パッケージ。
- [請求項2] 前記第1の区画壁は前記内筒の内周面に接続される請求項1に記載のパッケージ。
- [請求項3] 前記第2の区画壁は前記外筒の底面に接続される請求項1又は2に記載のパッケージ。
- [請求項4] 前記第1の区画壁及び前記第2の区画壁は形状が略同一であり、前記ヒンジ部は前記内筒の横断面の略中央に沿って位置するように設けられる請求項1から3のいずれか一項に記載のパッケージ。
- [請求項5] 上面を有し、前記パッケージを閉蓋可能な筒状の蓋部をさらに備える請求項1から4のいずれか一項に記載のパッケージ。
- [請求項6] 前記第1の区画壁及び前記第2の区画壁の、前記内筒の軸方向の鉛直方向上端は、前記パッケージを閉蓋した状態における前記蓋部の上面の高さに位置する
請求項5に記載のパッケージ。
- [請求項7] 前記第1の区画壁及び前記第2の区画壁は、前記内筒の軸方向の鉛直方向下端の位置が異なる請求項1から6のいずれか一項に記載のパッケージ。
- [請求項8] 前記外筒、前記内筒、前記第1の区画壁、及び前記第2の区画壁は

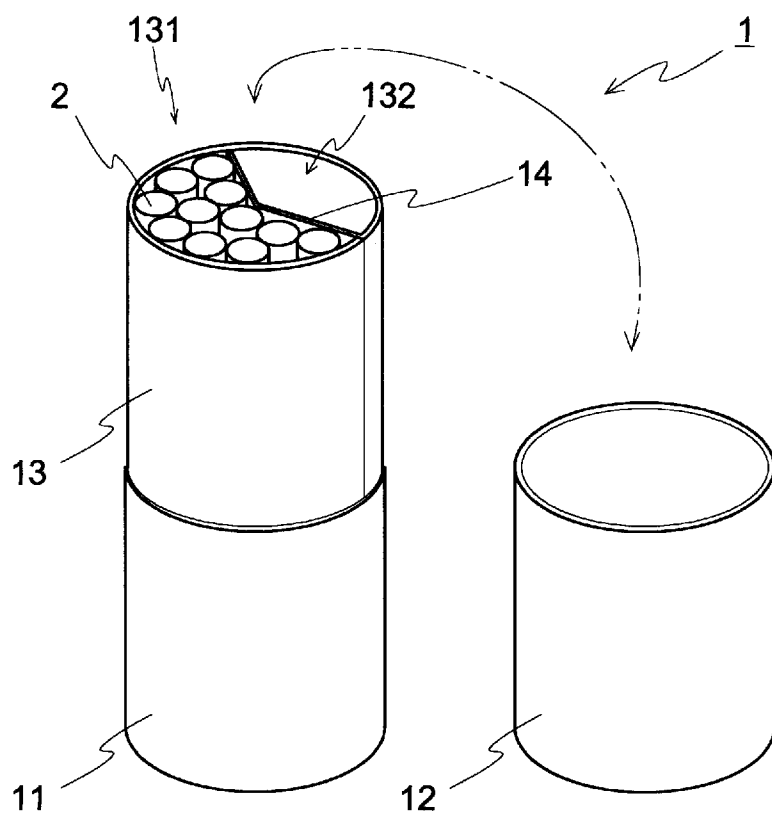
、紙材料又は樹脂材料で形成される請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載のパッケージ。

[請求項9] 前記第 1 の区画壁及び前記第 2 の区画壁によって区画された前記内筒内の空間の少なくとも一方にたばこ製品を収容する請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載のパッケージ。

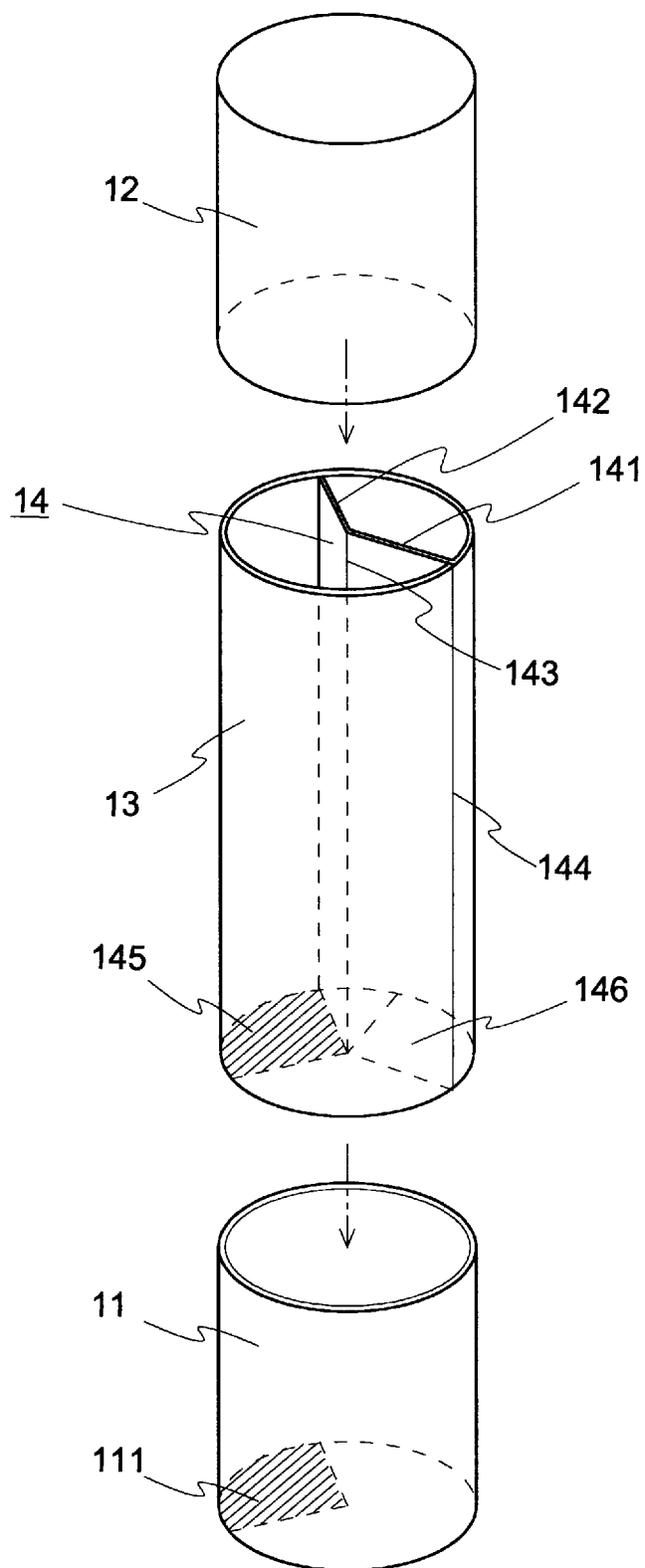
[図1]



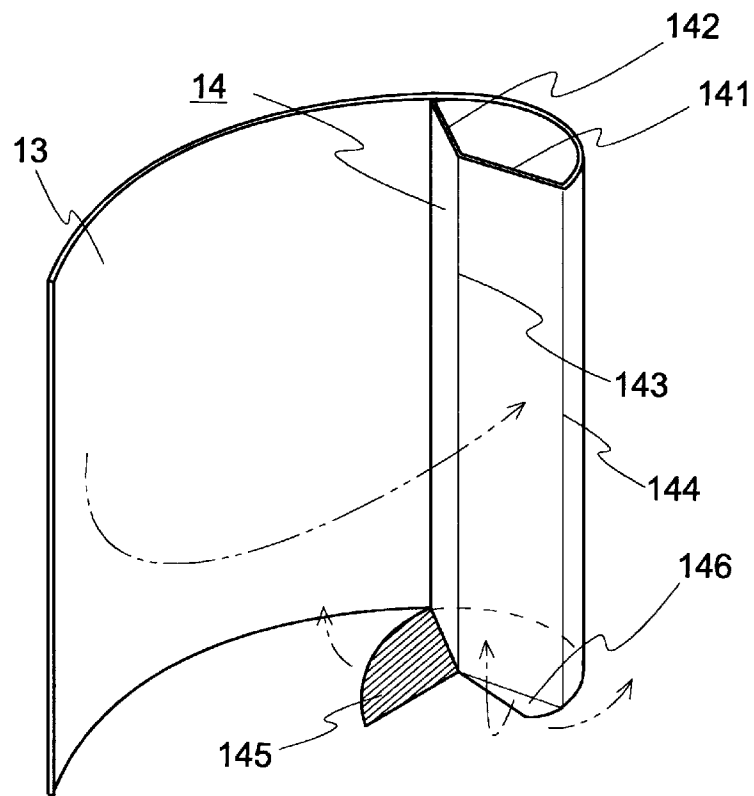
[図2]



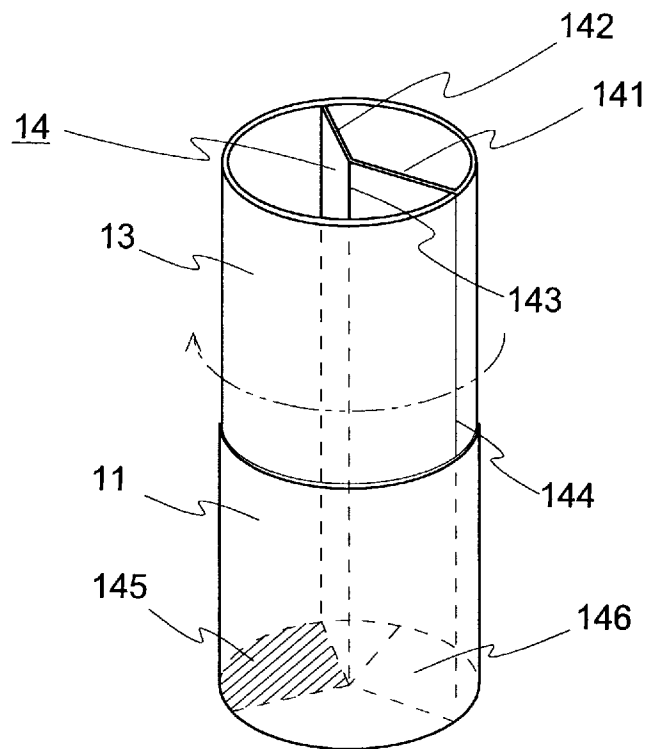
[図3]



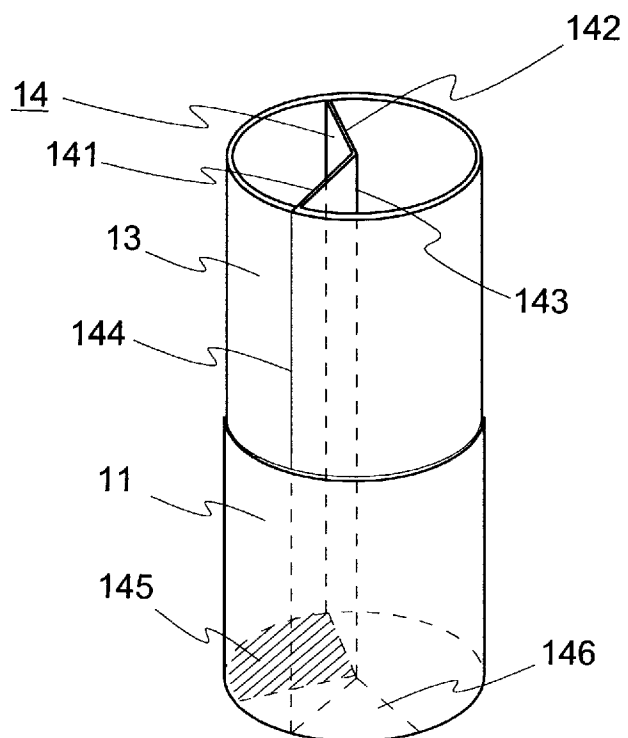
[図4]



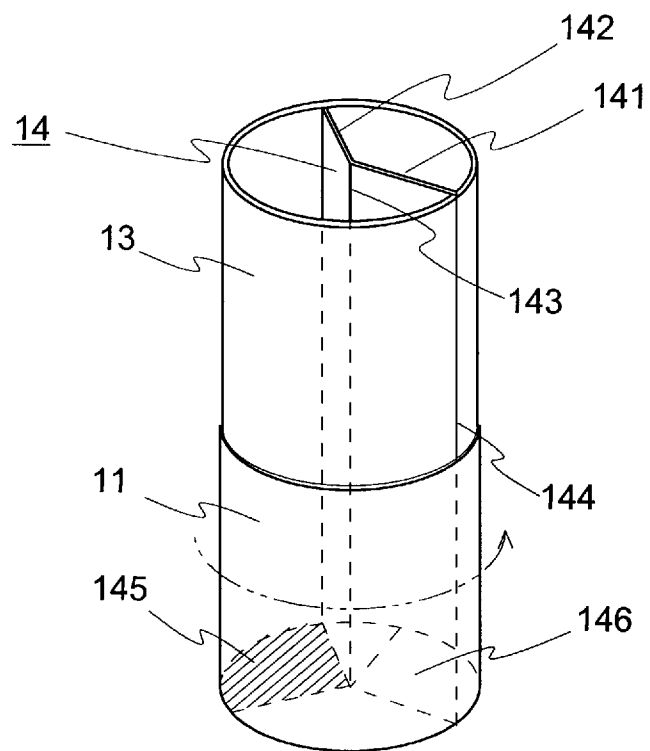
[図5A]



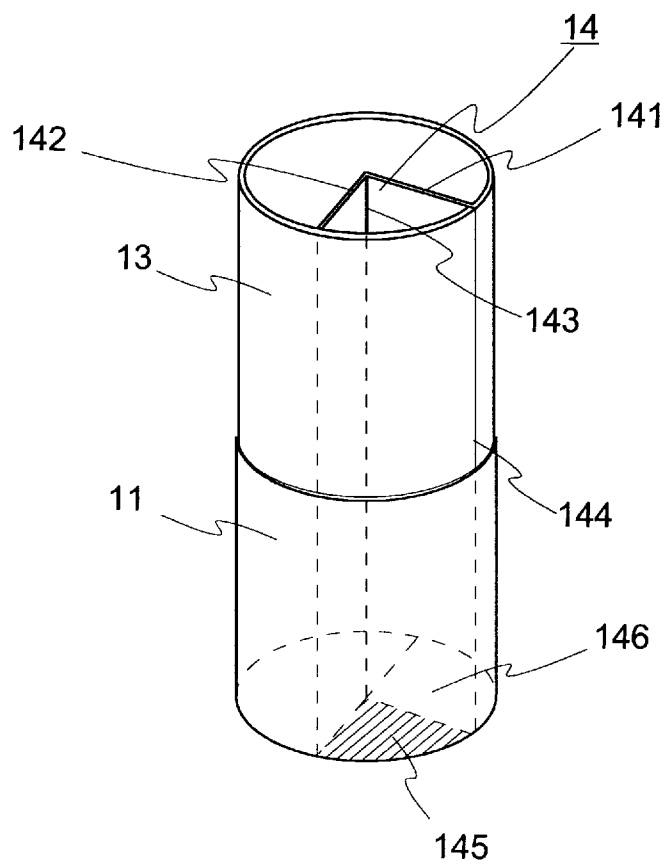
[図5B]



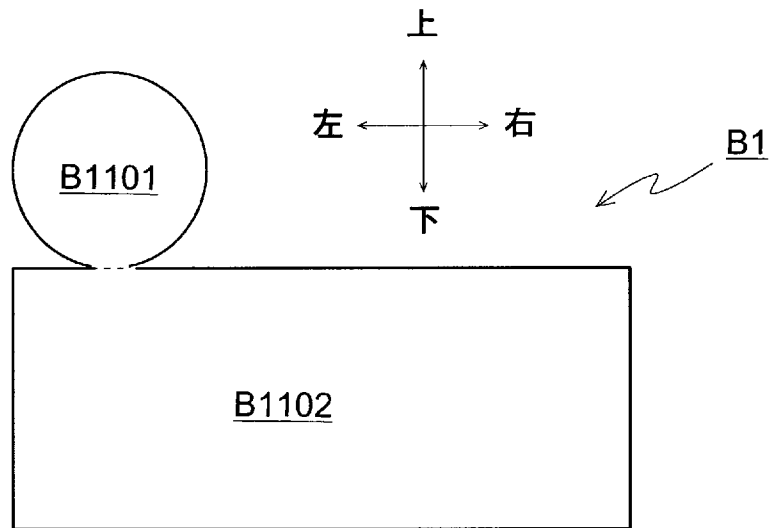
[図6A]



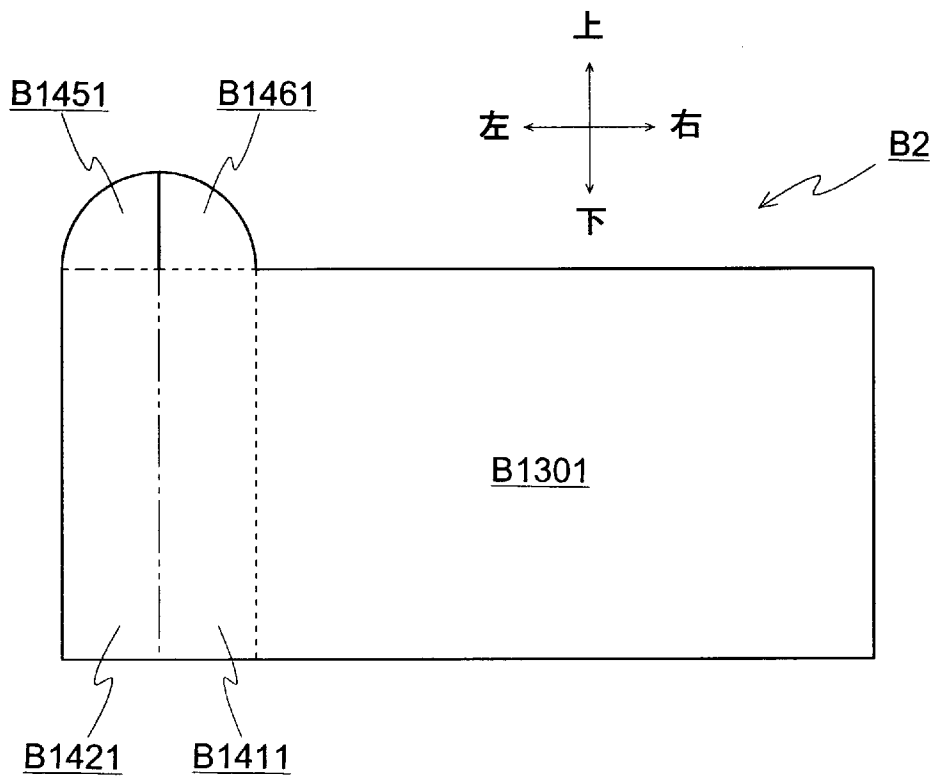
[図6B]



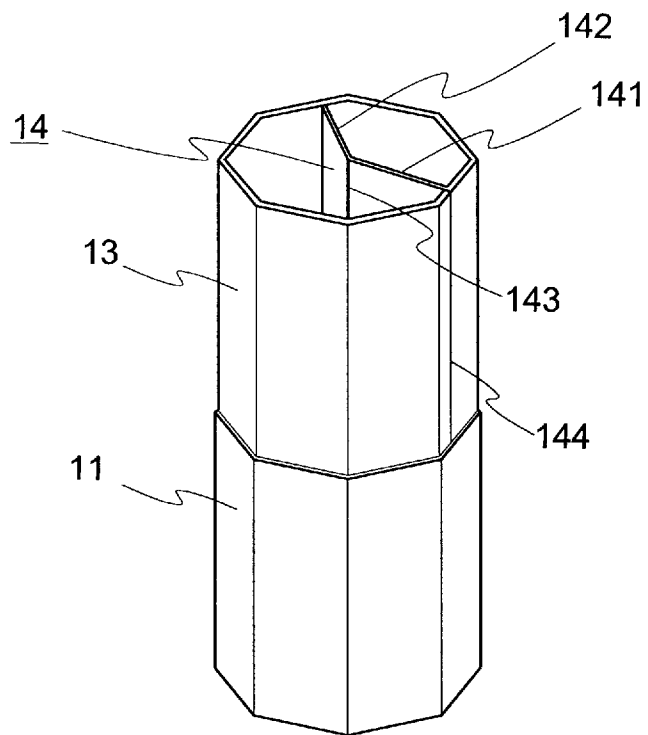
[図7]



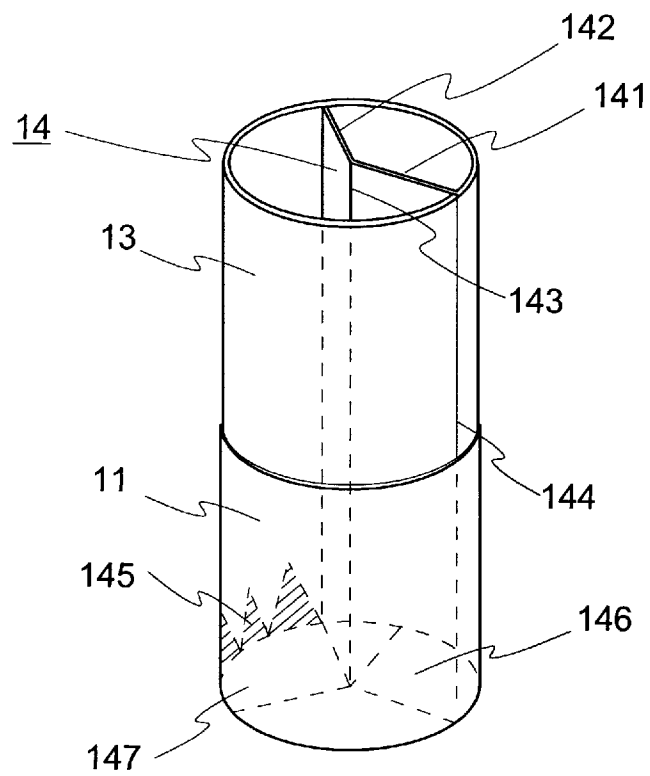
[図8]



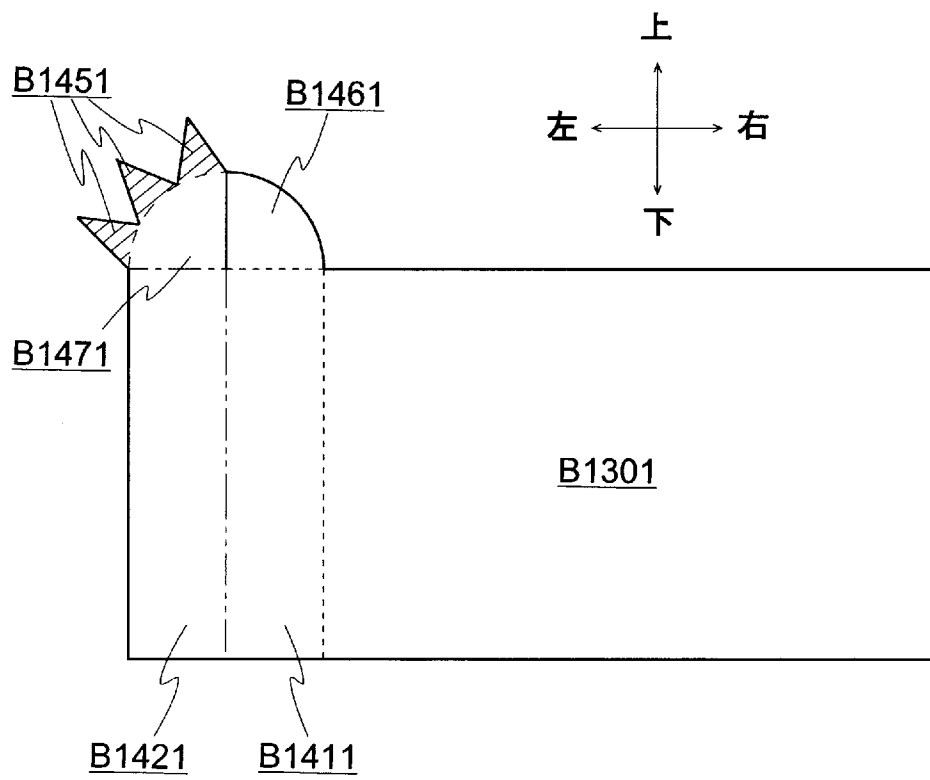
[図9]



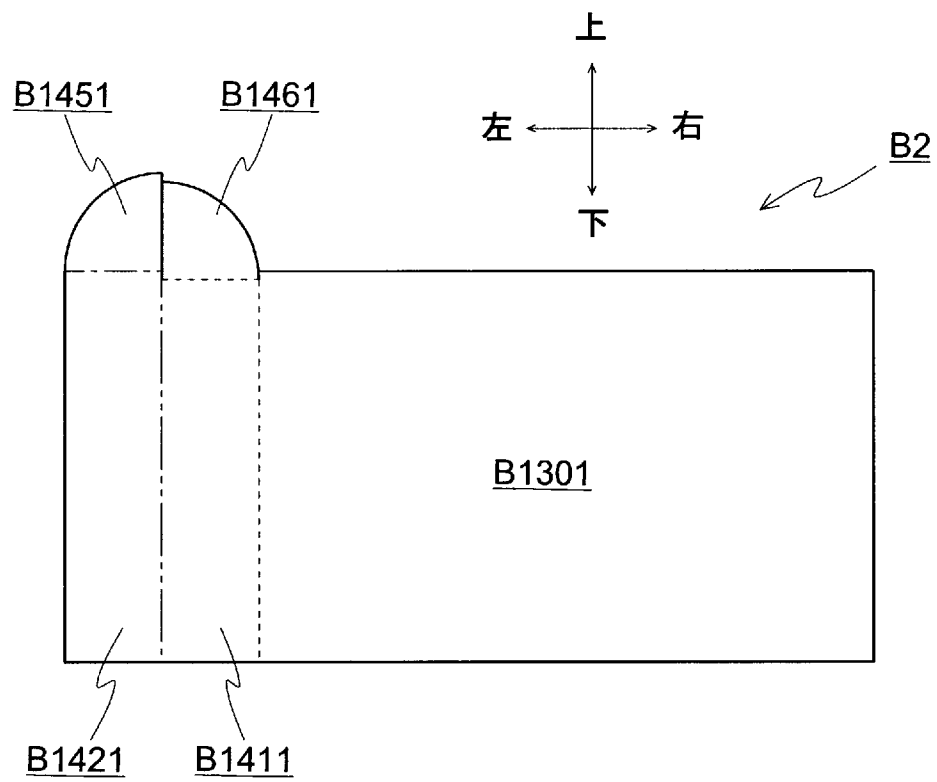
[図10]



[図11]



[図12]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2014/083979

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

B65D85/10(2006.01)i, B65D25/06(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B65D85/10, B65D25/06, B65D3/24

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2015
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2015	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2015

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	US 2010/0101186 A1 (J.L.CLARK, INC.), 29 April 2010 (29.04.2010), entire text; all drawings (Family: none)	1-9
Y	JP 49-35362 Y1 (Masaru TAKETANI), 26 September 1974 (26.09.1974), entire text; all drawings (Family: none)	1-9
Y	JP 2001-192073 A (Yoshino Kogyosho Co., Ltd.), 17 July 2001 (17.07.2001), entire text; all drawings (Family: none)	1-9

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
20 March 2015 (20.03.15)

Date of mailing of the international search report
31 March 2015 (31.03.15)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2014/083979

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 3138492 U (Ipax Iketani Kabushiki Kaisha), 10 January 2006 (10.01.2006), paragraph [0032]; fig. 7 (Family: none)	7
A	US 2010/0065077 A1 (CAROLINE LOFGREEN-OHRN), 18 March 2010 (18.03.2010), entire text; all drawings & US 2010/0065076 A1 & EP 2096946 A1 & EP 2099324 A1 & WO 2008/066450 A1 & WO 2008/066451 A1	1-9
A	JP 2008-13178 A (Yoshino Kogyosho Co., Ltd.), 24 January 2008 (24.01.2008), entire text; all drawings (Family: none)	1-9

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. B65D85/10(2006.01)i, B65D25/06(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. B65D85/10, B65D25/06, B65D3/24

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 5 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 5 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 5 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	US 2010/0101186 A1 (J. L. CLARK, INC.) 2010. 04. 29, 全文, 全図（ファミリーなし）	1 - 9
Y	JP 49-35362 Y1 (竹谷勝) 1974. 09. 26, 全文, 全図（ファミリーなし）	1 - 9
Y	JP 2001-192073 A (株式会社吉野工業所) 2001. 07. 17, 全文, 全図（ファミリーなし）	1 - 9

☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

2 0 . 0 3 . 2 0 1 5

国際調査報告の発送日

3 1 . 0 3 . 2 0 1 5

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）

郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

長谷川 一郎

3 N

9 1 3 5

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 3 6 1

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 3138492 U (アイパックスイケタニ株式会社) 2006.01.10, [O 0 3 2], 第7図 (ファミリーなし)	7
A	US 2010/0065077 A1 (CAROLINE LOFGREEN-OHRN) 2010.03.18, 全文, 全図 & US 2010/0065076 A1 & EP 2096946 A1 & EP 2099324 A1 & WO 2008/066450 A1 & WO 2008/066451 A1	1 - 9
A	JP 2008-13178 A (株式会社吉野工業所) 2008.01.24, 全文, 全図 (フ ァミリーなし)	1 - 9